

広報ひがしゆり

1990・6

No.423



高橋宏幸の世界

3

町出身・絵本作家



一九二三年老方に生まれる。
長年児童図書の編集にたずさ
わり、のち創作活動にはいる。
文・絵・実技指導と幅広く活
躍。「チロヌップのきつね」
など数多くが海外でも出版。

(高橋宏幸・文)

チロヌップの子さくら
どう見ても、六月号にふさわしい
絵とは感じられないだろう。それも
そのはず、舞台は千島、時代は幕末
という設定だから――これは、例の
「チロヌップの子さくら」の表紙絵
で、娘さくらが、きつねのチロと共に
に、働きにでた両親をまちわびる場
面である。千島では晩春に花開くキ
ツネザクラが、白い絵の具をこぼし
たように点々と咲きみだれ、赤い蝶
がひらひらと舞っている。一見、寒
むざむとした光景で、明るい雰囲気
はない。千島の歴史の原点に立ち、
「チロヌップのきつね」に登場する
娘地蔵のいわれをたどる、悲しいド
ラマの序曲だからだ。

こどもに悲劇がどんな価値をもつ
か?と、反発を感じる方がいるかも
知れない。でも私は、このようなき
びしい話を敢えて「押しつけたい」
とさえ思う。飽食しきった社会、ナ
ンセンス・メディアの洪水の中で、
涙の貴さをこどもたちは、どの程度
認識しているだろうか、という疑懼
を常にいだいているからである。

(高橋宏幸・文)

期間中の入場者は1万1千人



好天に恵まれ期間中延べ11,000人でぎわった八塩いこいの森（写真は5月6日）

町観光協会（畠山亮二郎会長）が主催する恒例の「黄桜まつり」が、例年より一週間ほど早い5月3日から開かれ、今年は期間を延長し同十三日まで開かれました。会場の八塩いこいの森は町が昨年から今年にかけ道路や駐車場、つり橋などの施設を整備。期間中は延べ一万一千人余りの観客が訪れ、黄桜（御衣黄）など遅咲きの八重桜を見物しました。また期間中の土、日曜日には商工会や農協婦人部などによる由利牛のバーベキューやヤマメの塩焼き、フランス鴨などの出店が並び、好調な売れ行きを見せっていました。

今年のイベントは渓流釣り大会（5日）、黄桜演芸会（6日）、ど自慢大会（6日）、ミス黄桜発表会（同）、健康ウォークマラソン（13日）、連合青年会三十周年記念駅伝（同）。

五日はあいにくの雨で黄桜演芸会は中止。しかし渓流釣り大会には釣り爱好者十人が参加し、放流したヤマメやニジマス釣りに腕前を競いました。結果は六匹を釣った長谷山喜悦さん（石高）が、二位に一匹の差で優勝しました。

六日は好天に恵まれ、八塩芸能俱楽部（佐藤秀也会長）が黄桜演芸会と、ど自慢大会を開



13日に行われた健康ウォークマラソン

（入賞者を三面で紹介）



ミス黄桜に選ばれた工藤まき子さん（右）と工藤弥恵子さん（左）

ミス黄桜コンテストは従来、ステージで公開審査していましたが、今回から事前に審査を行いました。その結果、ミス黄桜には応募者五人の中から工藤弥恵子さん（二十二歳・山崎）と工藤まき子さん（二十一歳・十二ノ前）の二人が選ばれ、ステージ（六日）で発表されると同時に、町観光協会長から認定証とトロフィー、それに海外旅行の目録が贈られました。

十三日には健康ウォークマラソンと連合青年会三十周年記念駅伝が行われ、合わせて二百人余りが参加。若葉かおる新緑の八塩いこいの森に、参加者は心地好い汗を流しました。

ミス黄桜に2人の工藤さん決定



長沢毅元議長に勲五等双光旭日章

春の叙勲で元町議会議長の長沢毅氏（中通・七八歳）が勲五等双光旭日章の栄誉を受けられました。長沢氏は昭和三十一 年東由利村議会議員に

初当選、以来同五十五年まで連続六期二十四年にわたり在職されました。特に昭和三十九年から四年間は副議長、同四十三年から十二年間は議長を務められ、町議会の融和と円滑な運営に貢献されました。

このほか村森林組合理事、村農業委員、町国民健康保険運営協議会会长、由利郡町村議会議長会会長、県町村議長

「魅力は奨励金。どうせ納めるなら納期内に」

蔵・祝沢自治会が5年連続納期内完納を達成！

蔵と祝沢自治会が五年連続して町税の納期内完納を達成しました。納期内完納とは、文字通り税金を決められた期限までに納めることですが、分かり易く言うと役場から督促状が一通も発送されなかつた状態をいいます。特に蔵自治会は世帯数が四十六戸。大琴（九十二戸）、新町（八十一戸）、下通（六十三戸）に次ぐ規模の世帯数です。こうした大世帯を抱えながらも、町税の納期内完納を五年連続して達成した背景には、自治会員の納税に対する強い認識と大きな協力のほか、完納奨励金の交付が大きく影響しているようです。

蔵納税貯蓄組合長で同自治会長の阿部剛さんは、「納期内完納の魅力は奨励金です。どうせ納める税金ですから、期限までに納めて奨励金をいただいたほうが、自治会にとつて大きなメ



畠山町長から表彰を受ける阿部藏自治会長（4月26日自治会長会議にて）

奨励金をアップ

平成元年度の納期内完納自治会は外に、須郷、田代、家ノ下、八日町、五海保、山崎、新町、岩館、黒沢、新処、舟木、高屋、畠村、奥ケ沢でした。

どうせ納める税金……みんな

連続完納報奨金を新設

これまでの納税奨励金のほかに、新しく「連続完納報奨金制度」を設けました。これは町税を三年以上連続して完納した自治会に交付するもので、基準は次の通りです。（基準額は一世帯当たり）

表 彰 年	基 準 額
3年	500円
5年	600円
6年	650円
7年	700円
8年	750円
9年	800円
10年	1,000円

黄桜まつりイベント 入賞者一覧

（三位以下及び敬称省略）

健康ウォーキマラソン

（小学校男子・四七人）

①小野 智樹（高瀬小六年）

②三浦 史信（沼館小六年）

③佐々木健次（五城目小六年）

（同女子・三三人）

①佐藤知江美（川西小五年）

②大庭 明子（大琴小五年）

③横山亜由子（八塩小五年）

（中学校男子・二六人）

①三浦 史康（雄物川中二年）

②大滝 直樹（〃一年）

③小松 秀和（東由利中一年）

（同女子・七人）

①大庭 優子（東由利中一年）

②高橋 美香（〃二年）

③遠藤 裕子（〃）

（親子ペア・二〇組）

①小野ミツ子・和成（須郷田）

②畠山喜美子・裕美（島）

③小野 広志・由佳（横渡）

（一般女子・二人）

①太田 静子（大琴）

（壮年男子・四人）

①佐々木次夫（五城目町）

（一般男子十キロ・五人）

①阿部 和美（由利タイヤ）

連青三十周年記念駅伝

①老方青年会②宿・袖山青年会③藏青年会（出場七チーム）

近い奨励金をいただき、今では自治会運営費の一部として、なくてはならない財源になっています。納め忘れなどのないように、納期前によく調査し、個々に期限内の納税を呼び掛けています」と話しています。

リットになります。毎年十万円

見返りの奨励金を地域づくりに役立ててほしいものです。

なお、今年度から奨励金の基

準額を一世帯当たり百円引き上

げ、一月完納を六百円、二月完

納を三百円に増額しました。

が協力し合って期限までに納め、見返りの奨励金を地域づくりに役立ててほしいものです。

役立ててほしいものです。

なお、今年度から奨励金の基

準額を一世帯当たり百円引き上

げ、一月完納を六百円、二月完

納を三百円に増額しました。

自治会長一覧（敬称略）

大吹川	畠山	玉治
須郷	高橋	未治郎
地下ノ沢	長谷山	義雄
黒渕	八嶋	盛一郎
葎沢	阿部	誠一郎
向田	横山	一男
智者鶴	畠山	安藏
泡ノ渕	佐藤	清一郎
高戸屋	小松	定雄
下小屋	佐藤	吉三郎
時雨山	長谷山	英士
田代	渡辺	新治郎
石高	畠山	洋
袖山	鈴木	亮一
家ノ下	安倍	政男
下小路	遠藤	光昭
宇戸坂	小松	久徳
館西	高橋	保克
八日町	菅原	賢治
五海保	嶽石	文男
山崎	小松	忠一
久保	高橋	典三
板戸	石橋	一郎
松柴	古関	三郎
新沢	長谷山	千代三
館合新田	渡辺	要一
須郷田	小野	巖
新町	佐藤	昭一
横小路	森川	昭児
上通	畠山	昭一
中通	畠山	忠治
下通	小松	忠正
湯出野	小松	秀悦
寺田	佐藤	謙
茂沢	畠山	栄雄
祝沢	遠藤	登
上里	小野	幸夫
横渡	佐藤	直温
岩館	木島	久成
蔵	阿部	剛
藏新田	小笠原	秋夫
島	千葉	千代造
宮ノ前	大日向	小十郎
黒沢	千葉	康平
野田	阿部	久左エ門
新処	佐藤	新一
十二ノ前	遠藤	利夫
桂台	阿部	涼雄
小倉	遠藤	三代治
中ノ沢	工藤	正悦
高村	伊東	茂雄
大琴	梅津	嘉一郎
舟木	大庭	時雄
高屋	小野	集一
土場沢	畠山	作一郎
下吹宿	遠藤	寅雄
大台	小野	清幸
沼	石綿	清保
杉森	鈴木	孝弥
畠村	阿部	初三
奥ヶ沢	高橋	与一
	沼田	勇雄

平成2年度自治会長会議



ご苦労ですが、

今年もよろしく！

自治会功労者などを表彰

【個人表彰】

▽前八日町納税貯蓄組合長・小松昌樹さん

【地域手づくり事業優良表彰】

▽蔵地区コミュニティーアクション会



町への要望や意見

された質問や意見の一部及び町の回答をお知らせします。

町と地域とのパイプ役を担う自治会長さんが、地域の問題や意見などを持ち寄り話し合いを行う、自治会長会議が四月二十六日有鄰館で開かれました。新年度で役員が改選されたこともあり、町内六十二自治会中、半数の三十一自治会から新しい会長さんが出席しました。

以下、会議で出された町への要望や意見、町からの連絡事項などについて概要をお知らせします。



自治会功労者として表彰を受けた鈴木さん（左）

町からの連絡事項

▼毎月第二・第四土曜日の土曜閉庁にご協力お願いします。

▼今年の地籍調査事業は宿字（七字）、法内字（十九字）が対象です。境界立合いなどのご協力をお願いします。

▼ごみの不法投棄は絶対しないでください。

▼暖冬による農業用水の不足が予想されます。計画的な水利用に務めてください。

▼山火事防止のため火の取り扱いに注意してください。

▼八塩いこいの森のキャンプ場、バーベキュー広場、あずま屋、つり橋などが整備されましたのでご利用ください。

▼新增築する場合は道路から二百メートル以上離して建築するようご協力を願います。

▼冬期間の除雪のため、家を新築する場合は道路から二百メートル以上離して建築するようご協力を願います。

▼生涯学習・スポーツ事業に積極的に参加してください。

【五年連續納期内完納特別表彰】

表彰のあと畠山町長が平成二年年度の主な施策について説明、町づくりに協力を要請しました。

【組合表彰（納期内完納）】

このあと町からの連絡事項（下段に掲載）などを役場の各担当課長が述べ、懇談会・意見交換に入りました。

以下、懇談会・意見交換で出ていたとき、趣旨の進展を期していただき、協力をいただきたい。

◆

【五年連續納期内完納特別表彰】

このあと町からの連絡事項（下段に掲載）などを役場の各担当課長が述べ、懇談会・意見交換に入りました。

以下、懇談会・意見交換で出ていたとき、趣旨の進展を期していただき、協力をいただきたい。

◆

誘致企業の立地準備進める



町誘致企業大東精機(株)の立地準備が進められる西山工業団地

町誘致企業大東精機(株)の立地準備が進められる西山工業団地に、同団地の一部(約六千六百九十五)の改良整備工事を、町内業者と三千八百六十二万五千円で契約を結びました。

以下、可決された主な議案の概要をお知らせします。

第三回町議会臨時会議が四月二十六日、第四回同が五月二十二日に開かれ、町誘致企業・大東精機(株)立地にかかる町有地の処分や平成二年度一般会計補正予算案など、合わせて十議案を可決しました。

町税条例の一部を改正

町税の「均等割非課税限度額」を二十五万六千円から二十七万二千円に、「所得割非課税限度額」を三十二万円から三十四万円に引き上げました。このほか新しく「損害保険料控除」を新設しました。最高限度は一万円で平成三年度からの適用です。

鞍骨線の工事契約を締結

鞍骨線(宮ノ前→新處・延長五百九十五)の改良整備工事を、町内業者と三千八百六十二万五千円で契約を結びました。

誘致企業に町有地を売却

町の誘致企業として西山工業団地に立地が決まった大東精機(株)に、同団地の一部(約六千六百九十五)の改良整備工事を、町内業者と三千八百六十二万五千円で契約を結びました。

▼八塩自然休暇村研修施設基本設計委託料百三十二万円▼西山工業団地用地測量八十八万六千円▼同道路新設改良費一千三百六十八万一千円▼同整地、排水路工事費二千三百十九万八千円

答 現在県では地すべり調査などをを行い検討中です。早期に整備されるよう今後も強く要望しています。

問 黒沢トンネル入口・出口の道路改良の早期実現を

問 黒沢トンネル入口・出

口の道路改良の早期実現を

や舗装などには七〇%以内で工事費を助成します。人夫賃金は対象外です。施工は見積書を役場産業経済課に提出しチェックを受けたから行ってください。

問 部落会館改修に助成を

にはある程度の助成は考えられます。いずれにせよ事業主体は自治会ですので、自治会内で充分協議し、規模、事業費などを決めて町と協議されるようお願ひします。

このほか葉書で事前に取り寄せていた要望事項では、十六自治会から四十項目にわたる要望が寄せられました。これらについては、それぞれの自治会長宛てに、書面で回答しました。

衣更舗道に目立つ園児達
遠藤トミ子(小倉)
殻を脱ぐ如く老夫の更衣
鈴木徳藏(沼)
更衣まとめて回す洗濯機
小松徳藏(湯出野)
更衣はかなき友の墓参り
小野貞子(藏新田)

更衣微風をまといペダル踏む
高橋ヒデ子(横渡)
菊地常作(湯出野)
今年より保育園縫下ろして更衣
小松慶治郎(高戸屋)
黒堀に牡丹の残る武家屋敷
佐藤正義(湯出野)
夕暮れの牡丹静かに揺れており
小笠原トミ(藏新田)
神酒ほどの晩酌の許可牡丹咲く
小笠原亮子(藏新田)
土台石残す草むら紅牡丹
小笠原亮子(藏新田)
傘を立て雨の牡丹を散りおしむ
遠藤モトミ(新處)
振り袖に牡丹の蕊の黄に触れぬ
阿部義直(沼)
あざやかに牡丹が保つ狹庭かな
阿部澄子(藏)

東由利の文政

ゆりかご句会(四月会続)

移り住む庭木も揃い更衣
鈴木要(沼)

カメラトピックス

今月の出来事

▶八塩いこいの森に新しくできた吊り橋「こうふくの橋」の渡り初めが5月2日に行われました。神事のあと畠山町長ら5人がテープカットを行い、町内の4世代家族、佐藤与吉さん(葦沢)、長谷山長一さん(田代)一家を先導に、新入学児童など200人余りが渡り初めをしました。この橋の完成により待望の「ダム一周」ができるようになりました。



▲県議会総務企画委員会の地方視察地に本町が選ばれ、4月25日12人の県会議員が町を訪れました。視察先は町誘致企業秋田信英株、八塩いこいの森、フランス鴨飼育で、一行は秋田信英株工場で数々の先端技術機械に目を見張らせると共に、町が特産化を目指すフランス鴨を試食、美味を高く評価し「秋田県の産業発展のためにも頑張ってください」と生産者らを励ました。(写真・秋田信英株工場)

▼新入学や新生児の誕生を記念する「ふれあいの森」づくりが5月2日八塩いこいの森で行われました。今年で7年目を迎え、この日は新入学児童や新生児の父母など200人余りが参加、きれいに花を咲かせた300本余りのツツジを一株一株ていねいに植えました。これまで2,000本余りのツツジが植えられ、シーズンには毎年きれいな花を咲かせています。



本町が『福祉教育推進指定』受ける 小・中学校と公民館

平成二年度から三年間、八塩・高瀬・大琴小学校、東由利中学校、町公民館が、国と県から「福祉教育推進」の指定を受けました。

これは、学校教育、社会教育を福祉の面から地域と結びつけ、児童・生徒に自分たちの地域の福祉の現状を理解させ、関わり合いを持たせることによってより良い地域社会の創造を目指すものです。その第一回目の打ち合わせ会が

午後三時から同五〇分までは参會者と教師の懇談会が行われます。ぜひ多数の方がご参會ください。

- ▼普通授業 8時30分～12時
- ▼給食・休憩 12時～1時
- ▼生徒集会 1時～2時
- ▼清掃ほか 2時～3時35分

この日の日程は…
東由利中学校が、もつと町民とのコミュニケーションを図り、開かれた学校教育を進めていこうと、「学校開放の日」を設定しました。授業や活動を広く町民にみてもらうことで、意見、要望を聞き、閉鎖的になりがちな学校教育の活性化をねらったもので、六月十八日を最初の開放日に決めています。

東由利中学校が、もつと町民とのコミュニケーションを図り、開かれた学校教育を進めていこうと、「学校開放の日」を設定しました。授業や活動を広く町民にみてもらうことで、意見、要望を聞き、閉鎖的になりがちな学校教育の活性化をねらったもので、六月十八日を最初の開放日に決めています。

東中が学校を開かれた学校教育めざす

農村の過疎を防ぐのは一体誰なのであろうか”。近代農業を推し進めるに、当然のことながら機械化農業となり、農村生活の近代化が推し進められるにしたがい、生活必需品や電化製品のみならず居住環境整備も近代化する。すべて金の出費が嵩む。水田平均面積一町三反の農業の町東由利。一種兼業農家四〇戸、二種兼業農家は五六戸を超え、專業農家は僅か四戸足らずである。その殆どの農家が農外収入を得て生活しているの

町長隨想

▼第12回町民登山が5月27日に行われ、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の50人が参加、新緑の八塩山登頂に心地好い汗を流しました。タケノコのシーズンとあって、腰にカゴをぶら下げる登山者もいましたが、残念ながら収穫はあまり期待できなかったようでした。



農協理事選に思う

が実態。それでも基幹産業は農業。このような中での行政の責任は重く……私はこの町の行政から農政を除くと残るものは殆どない……：そのように厳しい捉え方をしながら職員を督励している。道路の

挙が行われた。農業を営む生産者団体（農協）の理事者の選挙。つまり農家を代表する理事を選ぶ大事な選挙。町にとつても大変大事な選挙である。なぜなら、前述のように農政が大きなウエートを

代に向けて「東由利農業どうあるべきか……その道筋をたてよう……」とするもので、大事な大綱策定であり、その意味からも農協の新体制に期待するものが大きい。

農家の経営指導、技術指導体制

が弱体化している現体制への指摘が厳しい中で、東由利農業経営の理事者たちが何を考えて理事選に臨んだのか……！”。このたび農協青年部の画期的な発想で、理事選中に立候補者に抱負を語らせ、ある。

改良整備も、企業誘致も、野球場（勤労者体育施設）の建設も、特別養護老人ホームの建設も、すべてこの農村東由利に住むため、生活するための条件づくりだと言っている。さて、このたび町の農協理事選

占める町だからである。新しい理事の顔ぶれが決り、新しい農協時代への期待も大きい。

時あたかも町では、新年度の規事業として「東由利農業振興大綱策定事業」を実施することとした。これは二十一世紀の新しい世

代に向けた「東由利農業どうあるべきか……その道筋をたてよう……」とするもので、大事な大綱策定であり、その意味からも農協の新体制に期待するものが大きい。

町民の皆さんとの理解とご協力を

▼八塩山のふもとにある町営木沢放牧場で、例年より少し早く5月7日から牛の放牧が始まりました。今年は町内9農家から肉用牛7頭、乳用牛26頭を放牧。飼い主から離れた牛たちは広い牧場内を元気良く走り回り、栄養満点のおいしい若草を口にしていました。放牧牛は約半年間ここで体位などを向上させ、10月下旬には我が家に戻ります。



その結果、東光苑を活用した福祉活動、お年寄りとの交流、勤労体験学習など、従来の活動に福祉体験をプラスした活動を進めていく方向づけを決めました。

昔の人は「可愛い子には旅させよ」と言いましたが、今は「可愛い子には福祉体験を」が必要な時代となりました。

福祉教育の推進は、学校や公民館だけではなく、地域との連携がなければ、その成果はあがらません。

東京東由利会



会員の半数を超す約130人が集まった東京東由利会総会

「東京東由利会」総会が五月十三日、東京都北区にある昭和町区民センターで開かれました。この日集まつた会員は全体の半数を超す約百三十人。約半数の常連のほかに、何十年ぶりに出会ったという再会シーンも見られ、心行くまでふるさとの思い出話に花を咲かせていました。

愛してます。ふるさと"東由利"♥

創立30周年記念事業の開催など決定

開会前の午前十一時からは、町の「町政ビデオ」を百インチの大画面レーザーテレビで観賞。機材は電気店経営の畠山良造さん（下吹出身）が提供しました。

総会は午前十一時三十分に開会。

初めに長谷山稔会長（岩館出身）が「一年のうちで一番待ち遠しい日がやつてきました。今日一日を故郷に帰った気分で楽しく過ごしましょう」とあいさつしました。続いて来賓として出席した畠山町長が町の近況を報告、さらに町発展に協力を要請したあと、同じく来賓として出席した長谷山町議会議長が「みんなでふるさとを盛り上げてください」とあいさつを述べました。議事では幹事長の小松昌介さん（横小路出身）が進行役を担い、平成元年度の事業及び会計報告を原案どおり承認すると共に、日帰りバス旅行（十一月上旬・城ヶ島方面）、町特産物フェアへの協力などを決定。また、同会の創立三十周年に当たる平成三年には記念事業を開催することを決め総会を閉じました。

なごりは尽きず一次会に六十余人

お待ちかねの懇親会では、副会長の小野定平さん（須郷田出身）の音頭で乾杯。宴会では全日本舞踊振興会理事の永田あいさん（新町出身）が見事な踊りを披露したほか、カラオケにはプロ級ののどを

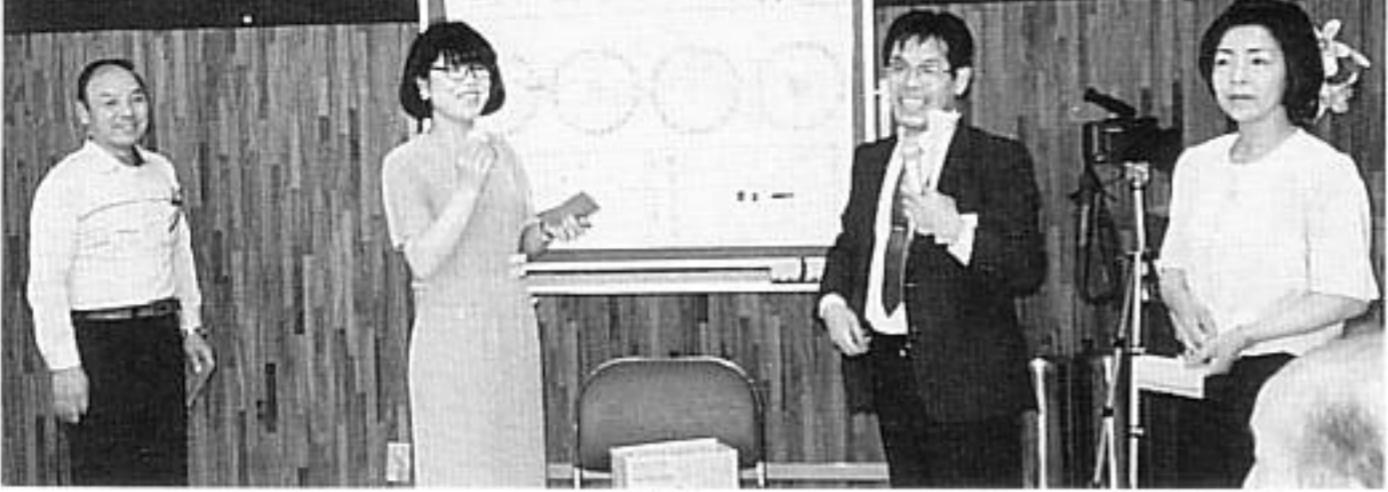


▲全日本舞踊
振興会理事の
永田あいさん
(新町出身)
が見事な踊り
を披露



▶プロ級ののどを持った会員がゾロゾロ登場。宴会の盛り上げ役となった（写真は新町出身の岩瀬房代さん）

京東由利会



▲趣向を凝らしたクジと豪華賞品が好評を博した「抽選会」



◀なごりを惜しみ総会出席者
半数が参加した二次会



▲総会を進める役員（写真上）と、お待ちかねの懇親会での乾杯（写真下）



持った会員がゾロゾロ登場し、宴会を盛り上げました。

また今年は高橋信行さん（松柴出身）のアイデアで「抽選会」を開催。炊飯ジャー、電気ポット、カメラなどの豪華賞品三十数点が、趣向を凝らしたクジで次々と会員に当たり好評を博しました。

集まつた会員の約半数は毎年参加している顔ぶれでしたが、初めて参加する会員も多く、懐かしい思い出話が時間の経過を忘れさせ、午後一時に始まつた宴会はアツという間に午後五時を過ぎてしまいました。

午後五時二十分、幹事の遠藤辰男さん（新潟出身）の音頭でおひらきにしたものの、皆なごり惜しく、会場隣の和室で二次会を開会、総会出席者半数の六十余人が参加しました。

午後六時過ぎにやつと散会になりましたが、その後は同級生や出身地の仲間同士が集まり、それぞれ三次会へ…。

帰省バスの運行を検討

今回初めて参加したという菊地富津代さん（五海保出身）は参加者の中では最年少の三十一歳。「横浜でスナック経営の岩瀬房代さん（新町出身）のすすめで参加した。若い人が少なく不安もあつたが、皆が方言丸出しで話すので田舎にいるような気分だ。ほんとうに楽しく、来年もぜひ参加したい」と話していました。

同会ではお盆に「帰省バス」を運行することなども検討しており、町ではこれが実施される場合には助成し、大勢の方がふるさとに帰省されるよう配慮することにしています。

古里の皆さん こんにちは



わかりますか？この顔、顔、顔



は
うんどう会

鈴木久美子さん（大琴小・二年）
わたしは、四月三十日に運動会をしました。

はじめ、校長先生からのおはなし
が、かいかいしきであります。校長先生は、「よーい、ドンとい
うことばをきいたら、どういうい
みか、かんがえてみましよう」と、いいました。それから、ぎちよう
さんとか、いろんな人のおはなし
がありました。

つぎは、こうしんでした。こう
しんをしているとき、つめたい風
がふいてきました。さむかつたで
す。わたしは、むねがドキドキし

うんどう会

鈴木久美子さん（大琴小・二年）

わたしは、四月三十日に運動会をしました。



作文編

ギヤラード

東京には三年間という両親との約束で、去年の四月にUターンして早くも一年が過ぎました。

向うでは他人様のお金を預かる仕事でした。今までとは全く違う仕事で、新しい今の仕事に多少戸惑いがありましたが、良き皆さん

のお世話になりながら少しずつですが、病む人の心の痛みが分かりかけてきたような感じです。その

反面、緊張の毎日でもあります。ここでは、お互いに助け合い、いたわりあつての毎日ですが、都会では合理的で淡泊な人間関係でした。田舎に帰つてこなかつたら、こうした思いやりの心に気が付かなかつたかもわかりません。

いっぱいの自然と周囲のあたたかさに、「帰つて来てよかつた」と思っています。何をするにも、まだ未熟ですが、どんなときでも自分自身に負けないように頑張りたいと思います。

次は……

えびす屋の若旦那！畠山鋼さん（藏・22歳）へ、リレーします。

ラジオたいそうがおわりました。いよいよ百日です。だんだん、でばんがちかづいてきました。でばんが、ついにきました。「いちについてー、よーいバン！」わたしは、はしりました。

いつしうけんめいはしつても、四とうぐらいにしか、なれませんでした。「きよ年は一とうになれたのに」と、おもいました。ざんねんだつたです。

つぎつぎにおわって、おひるになりました。おひるごはんをたべおわつてからアイスをたべました。

つぎつぎに重苦しさを感じる」「最近手

「だるい、疲れやすい」「最近食欲がない」「以前に比べて酒が弱くなつた」「おいしいと思わない」「右腹部に重苦しさを感じる」「最近手のひらが赤い」。こんな症状を覚えた、飲みすぎ、疲労のせいと自己診断をせず、早めに医師の診断を受けてください。検査は、どこ

の病院、医院でも受けられます。

もし慢性肝炎の診断が下つたら、過労を避け、規則正しい生活、バランスのとれた食事を守ること。日常生活を通して病気と気長に付き合う心構えが、肝硬変への移行を防ぐポイントです。

（保健婦・高橋鈴子）

ナリグレー

畠山 聖子さん(22歳)
土場沢・小松医院(館合)勤務



快適タイム

保健婦の

見逃がすな！“肝臓病”

肝臓病」というと、まずアルコールを連想しますが、わが国の慢性肝炎患者のほとんどはウイルス性。また患者は、働き盛りの男性に多い傾向がありますが、どんなとき性別は特定できないので、若いから、女性だからといって安心はできません。

肝臓は多少の障害には、ネをあげないので早期発見がなかなか難しいのですが、最初は単なる疲労や胃腸障害などと似た症状がでる場合が多く、これを見逃さないことが大切です。

「だるい、疲れやすい」「最近食欲がない」「以前に比べて酒が弱くなつた」「おいしいと思わない」「右

私たち、八塩山周辺の環境整備を中心とした「八塩山麓会」は、地域づくり活動として日ごろ多彩な事業に取り組んでいます。これまで炭焼小屋の建設や桜の植樹のほか、一昨年からダムの両岸にワイヤーロープを張り五十四匹の鯉のぼりを泳がせています。そのほか自分たちの職を生かしながら、地域づくりのボランティアなどを行っています。やはり、地域づくりは何といっても、そこに住む人たち

私たち、八塩山周辺の環境整備を中心とした「八塩山麓会」は、地域づくり活動として日ごろ多彩な事業に取り組んでいます。これまで炭焼小屋の建設や桜の植樹のほか、一昨年からダムの両岸にワイヤーロープを張り五十四匹の鯉のぼりを泳がせています。そのほか自分たちの職を生かしながら、地域づくりのボランティアなどを行っています。やはり、地域づくりは何といっても、そこに住む人たち

の「やる気」次第だと思います。八塩山麓会は平均年齢も若く、二十代の会員も何人かおり、自らの手による地域づくりに魅力を感じ参加してくるようです。しかし残念なことに婦人の会員がいません。地域づくりには男性と違った女性の感覚が大切であり、女性にもぜひ参加してほしいと思います。

それぞれの地域で「やる気」のあるグループが育つてくると、町にも自然に活性化の芽が出てくると信じています。

私の出番



黒沢 健一さん

随想文

地域づくりに思う

教師のつぶやき

せんせい登場



はじめて6年生を担任

大琴小学校・斎藤 晓先生

大琴小学校に着任して、二年目の春が過ぎようとしています。昨年は、本当にあつという間の一年間でした。

東由利町には小学校のころ、父が勤務していた関係もあり、そのころに何度もおじやましていますが、ずいぶん変わったな、道路等がとてもりっぱになつたなあとどうのが第一印象でした。

さて、大琴小学校についてですが、まず感心した事は子供たちのチームワークが良いという事です。私は現在野球部の担当をしていますが、昨年の六年生は男子は九名、

今年は八名、少ない人数で運動の得手、不得手に関係なく練習に取り組む姿には、この学校の特色が表われていると思います。

今年は、はじめての六年生の担任で、六年生としての仕事に子供たちもがんばって取り組んでいます。

小人数であるため、特に六年生たちは、何にでも全員参加、とても大変な事ですが、逆に言えばそれだけ活動する機会が多いという事、みんなで、この一年間をのり切つていきたいと思います。

ふるさとの 昔ばなし 3

地蔵ノ渕の河童

語り・工藤武雄さん（山崎）
文と絵・石渡力造



の足引張り溺れさせたのは…」「畑のキウリを盗んだのも、みんなこいつの仕わざだ！」

興奮した村びとは口々にののしりわめき、「殺してしまえ！」とばかり、馬小屋から河童をつまみ出し、こづきまわしたけど。

この騒ぎを聞いた孫助さんは、

「みんなだ、河童も生き物だ、今度からはいたずらしないだろうから、ごめんしてやつてけれえ！」

と命ごいをしたけど。土間にひ伏した河童は、涙をいっぱい目にし、「ご恩は忘れません。おかげ

と命ごいをしたけど。土間にひ伏した河童は、涙をいっぱい目にし、「ご恩は忘れません。おかげ

と命ごいをしたけど。土間にひ

むかしむかし、久保の孫助さんが、部落の川筋の「地蔵ノ渕」の澄んだ水底を見ていたら、不思議な生き物が泳いでいるのを見つけた。よく見ると、皿をのせたような頭、とんがつた口ばし…。何と、うわさに聞く地蔵ノ渕のいたずら河童だったでおの。

その年の田植えが近づいた頃、孫助さんの家の若勢が、代かきで泥だらけになつた馬を川で洗い流

「この河童だ！おら家のわらし

秋になって冷たい雨降りの続く朝、孫助さんの家の「かど柱」に、大きな生鮭が置かれてあつたけど。

とつぶんからりん山しょの実

伊東伊市さん(中通・73歳)

私の場合



倒れてから、重労働とは縁を切り新聞配達をはじめました。現在七種類の新聞を取り扱い、毎朝四時半に起床し、五時半には配達に出ます。

約百戸への新聞配達が適度な運動にもなり、また早朝のすがすがしさは精神面で健康的です。しかし、雨風の日や吹雪の日などは、やはり辛いです。

趣味も何もありませんが、日記だけは昔から毎日欠かさずにつけており、私の一つの宝です。若いころの日記を開いてみるのも、なかなか楽しいものです。（談）

ふるやことを想ひう 25

茨城県つくば市梅園二一一一六
佐藤 弘さん(42歳・寺田出身)

亡父の法要で久しぶりに故郷の五月の土を踏んだ。遠く鳥海山は、まだ真白な冠を頂いてはいるが、近くの野山は樹々が一斉に芽を吹き、新緑が空の青さに見事に映えている。現在私が住んでいる街も樹木は多いが、あくまで膨大な資

金を投じての人工美の景観である。悠久の時が刻んだ自然の造形美には、到底叶はずもない。

山の青葉、若葉に誘われ、「うさぎ追いしかの山！」の頃を偲びつつ、兄弟で山菜採りに出掛けた。ワラビ、ゼンマイ、タケノコ、カタクリ等々、天の恵み山の幸が実際に多彩である。久方ぶりにふるさとの天然の味覚に舌鼓を打ち、静謐で豊かな自然の中で文字通りゴールデンな休日を過ごした。

「山紫水明の地」という言葉は、わがふるさとのためにあるのではなかとの思いを強くしつつ、朝明けと共に、心尽くしの秋田小町のおにぎりを頬張りながら、一路、東北自動車道へと向かった。

万感の思いを込めて、ふるさとよ！ありがとう！

ひがしゆり・11

郷土の野草

6月 (4/1~4/30) 町のミニ統計

- 人 口 () は前月比
 - ・ 男 2,859人(△3)
 - ・ 女 3,001人(△1)
 - ・ 計 5,860人(△4)
 - 世帯数 1,429戸(△1)

 - () は1月からの累計
 - 出生5人(20) ●死亡3人(19)
 - 転入0人(28) ●転出0人(55)

 - 火災出動……1件 (1)
 - 救急出動……6件 (35)
 - 交通事故……0件 (3)
 - ・死 者……0人 (0)
 - ・傷 者……0人 (4)
 - 飲酒運転……0人 (1)
 - 酒気帯び……0人 (1)

6 町民カレンダー

水道調査（6月1日～7日）

- 5・特設人権相談所(10時～朋楽荘)
6・2歳児健診(13時～有鄰館)
7・心配ごと相談所(13時～朋楽荘)
8・3歳児健診(13時～有鄰館)
11・フレッシュ教室(10時～老方館)
13・乳児健診(13時～有鄰館)
13～14・6月定例町議会
15～16・自治会長研修(宮城県)
17・ソフトボーラー(360歳・レディース)大会(9時～台山グ)
20～22・敬老会(11時～有鄰館)
21・心配ごと相談所(13時～朋楽荘)
25～26・大腸がん検診
26・農業委員会(9時～役場)

第2、第4土曜日は役場が休みです

町長の面会日・今月は20日

町社会福祉協議会に高橋末治郎さん（須郷）から金一封のご芳志が届けられました。

善意

山地のやや湿り気のある所に生える多年草で、葉は倒披針形で地面に広がるようにつく根生葉です。葉の先から新しい苗をつくる特性があります。この葉の中心から高さ15~40センチぐらいの花茎を出し、写真のような淡紅紫色の美花を横

向きに3～15ほどつけます。和名
は猩々榜しきじようはざまで、花を猩々に、葉を榜
に例えたものだろうといわれます。
ここでは「テデツポツボ」とい
う人がいますが、これは山鳩が鳴
き出す春の初めごろ花が開くから
だろうと思われます。

5/14 渡辺 要	櫛野多代子	下小路
5/17 畑山 西室	工 郁	下吹
5/17 小松 小松奈保子	英治	東京都
	八日町	
	湯出野	
●ごめい福をお祈りいたします		
5/5 横山藤四郎(81・サト・夫)智者鶴 5/17 宮野 昌之(27・源二郎・長男)横小路		

ショウジョウバカマ (ユリ科)

文・写真 小松忠正



●お誕生おめでとう

4/21
5/20 届出·敬稱略

戸籍だより

畠山	正志	茂沢
美香	紀和子	長女
舞	利宏	茂
美喜子	長女	沢
田代	代	
一秋	代	
真希子	田代	
二女	代	
新町	代	

▼五月十二日、表紙絵でお世話になつてゐる高橋宏幸先生（東京都田無市）を訪問しました。先生は駅まで迎えに来てください、しかも、半日もの時間を割いてくださいました。この日は表紙絵の打ち合わせと「NHKふるさとネットワーク」出演用の録画撮りをさせていただきました▼翌十三日は東京東由利会の総会を取材、今月の記事にさ

編集室から

せていただきました。この模様はビデオカメラでも撮影してきました。六月十二日、今年度二回目の出演となる「NHKふるさとネットワーク」で、高橋宏幸先生と共に紹介させていただきます。ご覧ください▼総会後、二次会、三次会へと誘ってくれた東由利会の皆さん、夜分遅くに寝台車まで見送ってくれた皆さん、ありがとうございました。



5月中旬須郷田橋付近で出合った光景。子供たちは八塩小3年生で、「道徳」の時間を自分たちの考え方で決めての「空き缶拾い」。ほほえましい一コマである。